

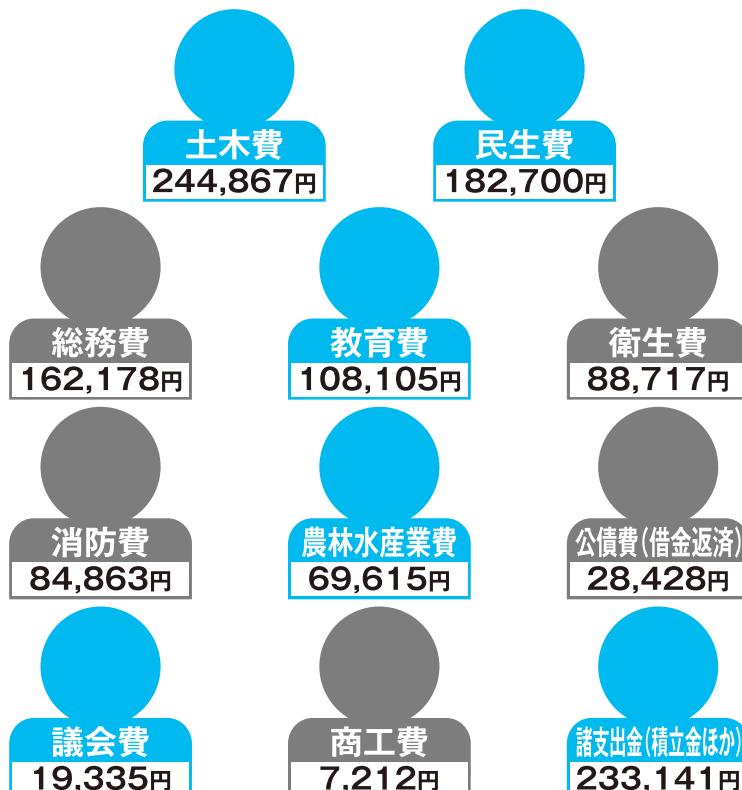
平成26年度決算 一般会計 特別会計 71億円を検証!!



一般会計決算

歳入(財源)	59億7,759万円
歳出(使いみち)	56億5,291万円
差引額	3億2,468万円

◆歳出総額 56 億 5,291 万円
村民 1 人あたり … 122万9,160円



9月定例会のあらまじ

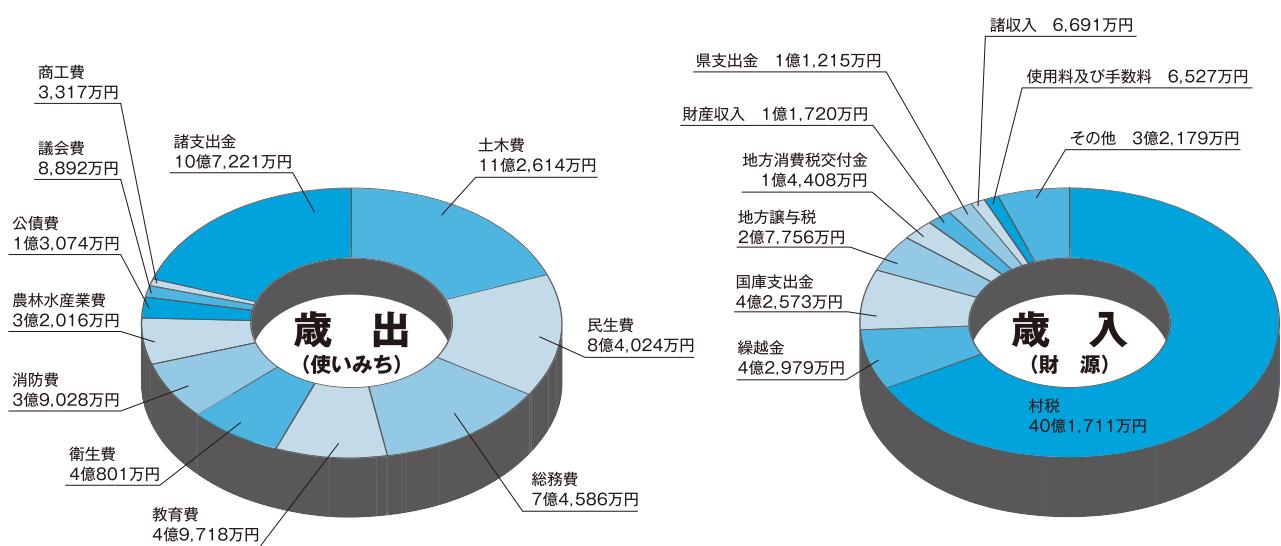
9月定例会は、7日に招集され、25日までの19日間の会期で開かれました。

条例改正2件、補正予算6件、平成26年度の会計決算7件の15議案が提出され、いずれも原案のとおり可決・認定しました。

また最終日には、財産の取得1件、工事契約の変更1件、人事案件2件、議員提案の会議規則改正1件と意見書4件が追加提出され、いずれも原案のとおり可決・採択しました。

一般質問は、会期11日目（9月17日）に7人が当面する村政の問題をただしました。

一般会計



問 総務管理事務事業の中の放送受信料は何か。

答 税額計算・納税通知書発送・償却資産のデータ入力等の委託、評価替え業務、図面管理

答 健康づくりや子ども

(賛成7 反対2で認定)

質疑

カーナビでテレビを見ることがあるのか。

今まで1割増、今

討論

のシステム保守、それ

たちの環境整備、勉学

の費用、災害に対する

費用等、出すべきところにきちんと負担していきたい。

問 三福と大宝の避難所の利用状況はどうか。

答 カーナビは2台だがNHKの放送受信料で、

災害発生時には必要なためつけている。

反対：鈴木義男議員

津波用避難ビルの維持管理費は将来的に膨大なものになると思われるの

で、反対する。

答 内覧会と防災訓練で使用した。どちらも鍵はお渡ししているが、まだ地区の会合をするまでには至っていない。

問 財務管理システムの調書作成委託とは何か。

答 3年にわたり比較で

引き続きたようなので、引き続き2割の計画でやってほしい。

問 竹之郷・古政地区の避難所は旧中学校になつてているが、今年の防

災訓練は総合体育館だつた。旧中学校の避難所の中を知らない人もいるが、なぜ総合体育

館でやつたのか。

賛成：橋本 涉議員

答 今年は北竹之郷が避難訓練に参加すると聞いていたので近い総合体育館にした。旧小学校の北拠点避難所の完成後、見ていただけるように土日で1日開放したいと考えている。

問 固定資産という言葉が幾つかあり、合計は1,000万近く。契約をまとめて少しでも安くなる努力をしていただきたい。

答 中身を改善するなりし、今後も5,000万の補助で、できる限り続けていきたい。

賛成：渡邊一弘議員

答 今年は北竹之郷が避難訓練に参加すると聞いていたので近い総合体育館にした。旧小学校の北拠点避難所の完成後、見ていただけのように土日で1日開放したいと考えている。

問 電算関係では例えば飛島独自のものである。

答 後のあり方はどうか。

賛成：安心・安全・安定の村づくり推進に向け、事業計画に沿つて適切に執行されており、今後も最良な事業の推進と予算の執行を行を望み、村民の生活環境の向上に努力することを願い賛成する。

決算額

(千円以下切り捨て)

会計名	歳入額	歳出額	差引額
国民健康保険	6億629万円	5億2,752万円	7,877万円
農業集落排水処理施設事業	1億5,857万円	1億5,585万円	272万円
土地取得	100万円	100万円	0円
介護保険	保険事業勘定	4億302万円	3億9,940万円
	サービス事業勘定	122万円	61万円
後期高齢者医療	6,234万円	6,154万円	80万円
宅地造成事業	3億9,050万円	3億9,050万円	0円

特別会計

国民健康保険

以上の住民負担を増やす
ず、堅実な国保財政を目
指し努力することを願い
賛成する。

質疑
26年度の決算は黒字
か赤字か。
答 黒字である。

反対 : 橋本 渉議員
飛島の保険税は標準課
税で計算すれば他市町よ
り安いが、実際の負担額
はかなり高い。また低所得
者層も負担が大きい。
賛成 : 小川政徳議員
毎年増加傾向にある医
療費と不安定な社会情勢
を鑑みれば、住民の負担
増は避けられないが、今

質疑
黒字であるなら一般
会計からの繰り入れを
返さずに負担軽減に使
うべきではなかつたか。
答 26年度は医療費が比
較的安定していたので、
繰入金は半分で済んだ。

農業集落排水処理 施設事業

(賛成8反対1で認定)

土地取得

(全員賛成で認定)



農業集落排水処理施設

反対 : 橋本 渉議員
介護保険制度は自己負
担が大きくなっている。
保険料も大きく上げられ
自己負担のために利用で
きない現状も出てきてい
る。制度自体にも問題が
あるため反対する。

賛成 : 井田晴己議員
第6期介護保険計画を
見ると要介護認定者が増
加することが予想されて
いる。介護予防事業の展
開と適正なサービスの提
供で、いつまでも住み慣
れた地域でできる限り自
立した生活が送れるよう
適切な運営を願い賛成す

質疑
集排の使用料金は毎
年4月1日現在で計算
される。しかし、途中
で人数が減つても1年
間は払わなければなら
ない。そういう条例
はおかしいのではないか。
改善する余地はある
のか。

答 今の算定方法は従量
制でなく定額制を採用
している。見直しをす
ると流入施設等の使用
料との兼ね合いから、
今後も今の料金体系で
進めたい。

(全員賛成で認定)

(賛成8反対1で認定)

後期高齢者医療

討論

反対：橋本 涉議員

この制度は高齢者を医療から区別する制度であり、病院から出される状況も生まれている。また医療費の負担も増大しており、この会計のあり方にそのものに反対する。

賛成：鈴木康祐議員

この会計は高齢者の保

基金名		平成26年度末現在高
財政調整基金	現金等	44億7,528万円
地域整備基金	現金等	40億5,532万円
減債基金	現金等	2,783万円
人材育成基金	現金等	5億1,000万円
地域福祉振興基金	現金等	1億3,650万円
国民健康保険支払準備基金	現金等	3,118万円
土地開発基金	不動産 (土地・雑種地)	4,514.00m ²
	現金等	3億1,180万円
介護給付費準備基金	現金等	3万円
基金合計	現金等	95億4,794万円

険料を広域連合に納付するための会計であり、高齢者が安心して医療を受ける。今後も事業の充実や

高齢者の方々に制度に対応する理解を深めていただき

くことを願い賛成する。

(賛成8反対1で認定)

宅地造成事業

(全員賛成で認定)

平成26年度一般会計、特別会計 徴収率は、99・84%となり0・21%の歳入歳出決算に関する調書は、%上昇しています。引き続き徴収関係法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められました。また、基

金の運用状況を示す書類の計数についても、特に問題とする事項はありませんでした。

一般会計は形式収支、実質収支が黒字となっており、必要な財源の確保と効率的な財政運営に努められた結果であると認められます。

歳入面を見ますと村税を始めとする自主財源は、83・10%を占め、消費税が8%に増税されたことから、国内消費の冷え込み等による減少が懸念されたが、前年度に比べ7・61%増加するとともに

監査委員の決算審査意見

平成26年7月15日から7月30日にかけて監査委員伊藤幹男氏、井田晴己氏により、決算審査が行われました。

一般会計、特別会計、土地開発基金の運用状況を審査した結果をまとめ、8月26日に意見書として村長に提出しました。

審査の結果および意見

平成26年度一般会計、特別会計 徴収率は、99・84%となり0・21%の歳入歳出決算に関する調書は、%上昇しています。引き続き徴収率向上に向けて努力するとともに、滞納者に、滞納者の経済状況等を精査し、適切な滞納整理が実施されることを期待します。

(審査意見より(要旨))

とも安全・確実、かつ有利な運用に努めてください。

特別会計は、国民健康保険税、農業集落排水処理施設使用料及び後期高齢者医療保険料の徴収率は上昇ましたが、介護保険料は徴収率が低下し、収入未済額が増加しています。保険料、使用料などにおいては関係各課一体となって徴収率向上に向けた努力するとともに、滞納者への経済状況等を精査し、適切な滞納整理が実施されることを期待します。



意見書を村長に手渡しする委員